

科學與藝術

書寫、詩吟——知名院士學者書法聯展

Science and Art • Brushstroke and Shigin

筆會與詩吟

香港城市大學館長 景祥祐教授

2015年3月27日

千百年來，人們對信息的掌握，無外乎通過眼觀，耳聞，或感知。這次在關西大學圖書館舉行的「科學與藝術 書寫、詩吟——知名院士學者書法聯展」就是集眼觀、耳聞與感知這些多重信息獲取渠道，透過院士展覽、院士筆會、學生吟詠的方式，將我們耳熟能詳的詩歌，呈現於這所百年基業的美麗校園。這種呈現方式遠遠超過了一般意義的展覽，更是演繹與運用的方式，透過何繼善院士、鄭培凱教授、徐揚生教授的書法演繹，學生的吟詠，當我們我再次聽到李白、杜甫、朱熹的詩歌時，不得不感歎關西大學圖書館館長這種對資源的特有推廣方式，不僅僅讓年輕的學生參與其中，更是召集喜歡書法的社會團體，讓今天的開幕禮，筆會與詩吟似千百年前的蘭亭筆會，曲觴流水，群賢畢至。

最後，讓我再次感謝中國工程院的潘雲鶴院士、何繼善院士、謝和平院士、徐揚生院士與美國加州洛杉磯分校的杜經寧院士，中央研究院的王汎森院士以及香港城市大學的鄭培凱教授。更要感謝關西大學內田館長與金東滢先生對此次展覽的所投入的心血。

謝謝大家。

科學与藝術

書寫、詩吟—知名院士學者書法聯展

Science and Art • Brushstroke and Shigin

こんにちは

ただいまご紹介に預かりました、
香港城市大学図書館長の_____と申します。
関西大学創立130周年記念、
図書館創設100周年記念、
おめでとうございます。

私たち香港城市大学は、共にお祝いできることを大変光栄に思います。

図書館——

そこには人類にとって、素晴らしい役割があります。
ちょっと想像してみてください。

人間が情報を受けとるとき、

その感覚は、大きく分けると3つ。

目で見ると。
耳で聴くと。
体感すると。
文学の美しさを感じるということは、
この3つの感覚で受け取ることでないでしょうか。

さて、本日は、異なる分野の研究者でもある3名の高名な書家の書をご観覧頂き、
また、学生の皆さんの詩吟を聴いて頂きます。

目で見ると。
耳で聴くと。
体感すると。
どうぞ、藝術の美しさを、
3つの感覚で受け取ってください。

私は、この藝術を通した図書館の新しい試みに、
わくわくしています。
図書館が、学部、学科、国、人種などの垣根を越え、
人をつなぐのですから。

私は本当に嬉しいです。
関西大学楠見学長、内田図書館長、東金瑩さま、
そして、図書館職員みなさまに
この場をお借りし、
感謝の意を表します。

ありがとうございます。